

# 第32回 学園祭

令和7年10月16日(金)

けんしん文化センター大ホールにて2年ぶりのステージ発表。各クラスで企画し、練習を重ねた演目が繰り広げられました。

## 会報 あさかの



発行

郡山市あさかの  
学園大学学生会  
《発行責任者》  
学生会会長 國分尚美  
《編集責任者》  
会報編集委員長 大野直彦  
《印刷》(株)土屋印刷所



## ポスターコンクール

最優秀賞 大下 誠さん(研1)

優秀賞 大川原 弘輔さん(研2)  
白岩 謙さん(2C)

\*白岩さんは所用の為欠席。

受賞者の皆さん、  
おめでとうございます。



白岩 謙さん



運営委







2B

365日の紙飛行機



1A

三春盆踊り・ひょっこり



2C

福島四季音頭・浪花節だよ人生は



1B

夢のなかへ・青春時代



3A

切手のないおくりもの・バケーション



1C

もしもピアノが弾けたなら・YMCA・恋の季節



3B

手話 上を向いて歩こう



2A

You are my sunshine・手のひらを太陽に





4B みんなで踊ろう！ イチ・ニイ・サン



3C もしも明日が ダンシングヒーロー



4C 生きているということ



4A 寸劇・踊り 郡山・愛



研2 昭和を歌い♪ 昭和で笑いましょう



研1 酔ってらっしゃい飲んでらっしゃい



今年のステージ進行



ノリノリのダンス



お約束…“社長～”



軽やかなステップ



皆さん、お若いんですね～



“ゴツン！”、大爆笑！？



舞台袖のピアノ伴奏者





## クラス紹介

### 教養二年 健康・福祉

會田 光郎

私たち2Aは、男性13名、女性31名、計44名の女性が多いクラスです。

2Aは探求心が強く何事にも全力で取り組むクラスです。授業の質問時は次々と手が上がり、疑問があればその時聴き出す。臨地学習では講師の先生に詳細に尋ねる等々、学びに真剣に取り組む姿勢があります。

運動会の成績は時の運もあり下位でしたが、目的は全員参加で一丸となり、ケガ無し・ズル無し・文句なしと皆が助け合い、協力し合いクラスの団結力が生まれました。初めての学園祭では、合唱とダンスで、

「You are my sunshine・手のひらを太陽に」をステージ発表、リーダーから、まず皆でやってみよう、できることから進めようとスタート。練習を重ねる度に皆から提案が相次ぎ、全員参加で絆が深まり、太陽のように「青春ふたたび」を愉しむことが表現できました。運動会の「団結心」学園祭の「絆」が私たちの宝物です。



### 教養二年 郷土・生活

浜津 美香

私達のクラスは37名の少数精鋭部隊です。昨年の運動会では五位になり「頑張れば、優勝もあり得るのでは？」と思ったのも束の間、今年は何と最下位になってしまいました（笑）

学園祭では「365日の紙飛行機」の二部合唱を披露しました。「人生は紙飛行機。その距離を競うよりどう飛んだか、どこを飛んだのか、それが一番大切なんだ」の歌詞を自分たちへの応援歌として噛みしめながら心を込めたパフォーマンスが出来たと思います。

人生はいろいろあって、時にはへこむこともあるけれど、今わたしたちはあさかの大学2Bの空を思いっきり飛んでいます。



### 教養二年 芸術・文化

橋本 町子

2Cは男性12名、女性34名の明るいクラスです。学園祭は2班に分かれA班は、『浪花節だよ人生は』の踊りに『チューチュートレイン』の創作ダンスを取り入れ、特に上半身を回転させるのに猛練習を重ねました。

絆も深まり互いにアイディア、意見を出し合い団結力が高まり完成後の動画を見たときは努力が実った感動で涙が出ました。一方B班は、学園歌の歌詞を取り入れた『福島四季音頭ーあさかのバージョン』というオリジナルに合わせた踊りです。

音楽、スクリーン作り、小道具など担当を決め練習をスタート。二年前までは知らなかった同士でしたが、クラスの団結力を生み、素晴らしい経験をしました。





# 現地学習

## 「芭蕉の足跡に胸躍る」

教養一年 芸術・文化

荒川 初美

「奥の細道」：よく耳にする言葉ではありますが、今まで深く知ることもなく今回の現地学習に臨み、芭蕉の足跡に感動することばかりでした。今から336年も前に奥の細道の旅をスタートした芭蕉。現代には考えも及ばない困難な道を進み、その先々で詠まれた俳句に心を揺さぶられました。

深川の芭蕉庵をスタートし、おくのほそ道を歩き、美濃国（岐阜県）にたどり着くまで142日。二千四百キロメートル歩いた芭蕉。長い歴史を経てもなお、私たちに感動を与えて続けているのです。



## 「奥の細道を訪ねて」

教養二年 芸術・文化

小田 より子

奥の細道を旅した俳人 松尾芭蕉の足跡や文学碑を訪ね現地学習に出発した。

十一月七日秋晴れのとても風の強い日でした。芭蕉が訪ねた福島県を代表する歌枕の地 日和田の安積山を始め二本松の鬼婆伝説の黒塚、福島市に在る悲恋物語で知られる文知摺石、軍記物語で語られる「佐藤一族」のある飯坂の医王寺、そして国見へ。講師の根本先生の案内と説明でとても中身の濃い学習旅行でした。

今回訪れた史跡や文学の碑に古代縁のロマンと心豊かさをそこかしこに感じながら、秋の日の歴史の学びの一日に感謝をし無事帰路に着きました。



## 会津の 仏教文化にふれて

専門一年 郷土・生活 橋本 厚子

明日に立冬を控えた十一月六日、私たち3Bの現地学習が行われました。

郡山は晴れて絶好のバスの旅かと思われましたが、到着地点の会津若松は深い霧に包まれ幻想的な雰囲気、大きな川に囲まれた地域の為、川からの水蒸気がたびたび町を覆うのだと、講師の先生の説明でした。

「会津の仏教文化Ⅰ」会津北部の代表的な神社仏閣を訪ね理解を深めることが今回の目的です。多数の仏像が一堂に会する勝常寺、長床で有名な新宮熊野神社、出征兵士の支えとなった会津大仏を本尊とする願成寺、国宝に指定されながらも改正により重要文化財となった「木造薬師如来坐像」を有する中善寺。

数々の仏像に触れる事により、会津の人々の歴史も垣間見える事が出来た旅だと思っています。



## 五十五年後の再会

専門二年 郷土・生活

平田 幸一

現地学習で訪れた、会津坂下町上宇内薬師堂は、なんと私の実家から徒歩十分ほどの場所にある。また、この薬師堂の目の前には、私の母校の小学校があった。川西小学校という。十二年前に統合され、現在は子どもたちはいない。さらに奇しくも、現地学習のこの日は、私の誕生日であった。さかのぼる事、五十五年前の六年生のこの日は金曜日であり、私はこの川西小学校に登校していたはずである。

しかし当時の私は、ここが「国指定重要文化財」であることなど知る由もなかった。何か貴重な文化財があるらしいことは聞いていたが、一度も訪問した記憶がないのである。

そして縁あって、半世紀以上たつて訪れることに、導かれた運命を感じざるを得ない。





# 学生会活動経過報告

## 総務委員会報告

総務理事 鈴木 久夫



今年度の総務委員会の主な活動は、福祉施設へのタオル類寄付、歳末助け合い募金および新聞社への学生会活動の記事掲載依頼等でした。

タオル寄付活動については、皆様から寄付して頂いた新品タオル1,140枚を11月25日に社会福祉法人郡山社会福祉事業団へ贈呈しました。事業団では郡山市内の障がい者施設等に配布するとのことでした。

募金活動については、皆様から募金して頂いた184,296円を12月9日に社会福祉法人郡山市社会福祉協議会に届けました。更に本年度は、福島県社会福祉大会において感謝状を受けています。福島民報および福島民報新聞には、大安場史跡公園清掃活動やタオル寄付等を掲載して頂きました。

皆様には、寄付・募金活動にご協力頂きありがとうございました。また、総務委員の皆様の積極的な活動に感謝いたします。



## 2025学生会経過報告

### 感謝を込めて

～未来へつなぐ学生会のバトン～

学生会会長 國分 尚美



はじめに、一年間にわたる学生会活動への温かいご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

私たち学生会は、運動会、学園祭、そして7つの実行委員会の事業を中心に活動してまいりました。どの実行委員会のメンバーも、企画・運営に尽力し、熱意ある活動を続けてくれました。

その活動を多方面から支えてくださった事務局、先生方、そして参加することで学生事業を盛り上げてくださった学生の皆様、全ての方々のエネルギーが一つになり、皆様の心に素晴らしい思い出として残ったものと確信しております。

この活動を通して、私は「一人ひとりの前向きな姿勢が、学園を動かす大きな力になる」ということを学びました。会長という立場で関わったことは、私にとって何物にも代えがたい貴重な財産です。

さて、これから学生会は、新しいメンバーにバトンを引き継ぎます。新体制になっても、引き続き、積極的に学生会活動に参加し、学生自らの手でこの学園をさらに良い場所にしていくことを願っております。改めて、事務局先生方、学生の皆様、本当にありがとうございました。皆様の今後のご活躍と、学園のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

## 学生生活6年間で振り返って

研修2年 委員長 佐藤 重章



私達が入学した2020年はコロナで幕が開けた年でした。4月からの授業もなく、学園行事と学生会事業のほとんどが中止となりました。7月になりようやく授業が始まりましたが、クラスの活発な交流もままならず、多くの学生は授業が終わるとそそくさと教室を後にしていたことが思い出されます。

そんな時期においても学生会の理事会や実行委員会は、定期的に話し合いを重ねていたことが強く印象に残っています。学生会も今年で32年になりますが、全国でも稀有な存在として、学生が自主的に運営し、また存続しているのは、縁あって学生会に携わってきた委員の方々の奮闘努力とまわりの皆様の協力があったのと改めて強く思っています。

これからも、健康で楽しく、より良い学園生活が送られますよう、皆様のご活躍を期待しています。

## 学生会会計を担当して

会計理事 五十嵐 和紀



4年生になり学生会三役の一員として会計を担当する事になり大きな不安がありましたが理事会、実行委員のご協力で学生会費徴収、各実行委員会の支払いなど滞りなく運営出来ている事に感謝申し上げます。

会計実行委員会は年2回の開催の為、横の繋がりには少ないですがクラスの会費管理など重要な仕事です。

学生会行事は、大部分が会員の会費で賄われています。本学で学ぶことにより「ふたたびの青春輝け」を実践できるのは勿論、多くの人に講義以外にも、うねめ踊り参加、環境ボランティア活動の実施など有意義な活動を多数行っていることを知ってもらい入学希望者が増加する事を願っています。



# 実行委員会活動経過報告

## 「施設訪問」から 「福祉ボランティア」へ

福祉ボランティア実行委員長  
専門1年 健康・福祉 鎌田 大輔

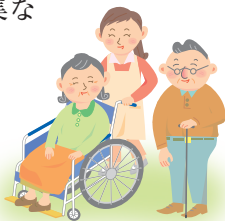


昨年度作成した新たな活動方針に基づき、広く福祉を中心としたボランティア活動を推進するため、次の活動を目標としました。

- ・ボランティア募集等の情報提供
- ・ボランティア活動への支援
- ・セミナーや勉強会の開催

委員会において話し合い、今年度は情報の提供とセミナーの開催を実施することとしました。

8月にはボランティア募集などの情報を掲示、11月には福祉ボランティアに関する講演と学生の活動事例を発表するセミナーを開催しました。



## 新潟方面バス旅行

レクリエーション実行委員長  
専門1年 郷土・生活 佐久間 喜代江



新潟方面ということでコース変更があり、募集の時は苦労したクラスもありましたが、何とか二百名以上の方々の参加をいただき感謝致します。

委員会を重ねて当日を迎え、雨の予報でしたが、少々降ったところもありましたが、天気も良く、暑くもなく、事故も怪我もなく、無事バスの中も楽しく長く感ぜず終了したことにホッとしました。

弥彦神社と海の幸を堪能する日帰り旅行ということで、食も買い物もあり、盛りだくさんの旅だったと思います。いろいろな不満、感想はあると思いますが、良かったよ、楽しかったよと声をかけていただきうれしく思いました。

参加された方々、委員会の皆さん、本当におつかれ様でした。感謝致します。ありがとうございました。



## 環境ボランティア実行 委員会活動経過報告

環境ボランティア実行委員長  
教養2年 健康・福祉 橋本 町子



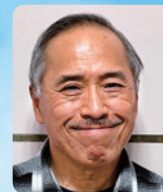
本年度も環境ボランティア実行委員会の活動に、多数の学生のご協力を頂きました。

大安場史跡公園前川河川清掃活動は、暑さ厳しい6月28日97名、台風の近づく第2回目の10月11日は73名の協力のもと実施。暑さと雨でご苦労をおかけしましたが、河川敷及び遊歩道はきれいに整備されました。

1月17日（土）の環境セミナーは“笑い与健康”をテーマに、アマチュア落語家の山椒家小粒氏をお招きして、落語を交えてご講義いただきました。大いに笑って1年の学びの締めくくりとなれば幸いです。1年間企画頂いた委員の皆さまお疲れ様でした。ご協力頂いた学生皆さま、改めて感謝申し上げます。

## 会報編集委員って大変?! 本当?!

会報編集委員会実行委員長  
専門1年 芸術・文化 大野 直彦



令和7年度の会報も、速報、62号は発行・配布済。この記事が読まれているという事は63号も無事発行ですね。「自分に務まるかな?」と思った会報編集ですが、終わってみれば発行した会報全てに「やり切った」感があり愛着を感じます。今年度の編集委員の皆さん、執筆頂いた皆さん、撮影隊の皆さんご苦労様でした。

今年の編集委員会活動 ポイントは2つ

①スナップ写真を多く掲載し、臨場感のある誌面作り  
→読み返すと「令和7年でこんな年」と思わせるように...

②継続性の為、次のメンバーが困らない仕組み作りに着手  
→マニュアル化して誰がなっても「安心」な会報編集委員会  
→「組織」対応:「個人」の負荷が分散できる風土作り

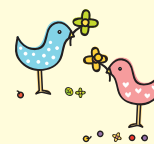
「会報編集」活動にはパターンがあり、定型業務/先行手配して分担が可能で負荷低減が見込めます。自らの工夫と助け合いで「楽しめる会報委員会」を目指しましょう。うちの「伸び代」は十分です。(笑)





# みんなの広場

日々の暮らしでの発見や感じていること



## 定年後の生き方

教養一年 健康・福祉

三瓶 正弘

私は昨年二月に65才で定年退職した。定年後は会社勤務中にできなかった事をやろうと、家では野菜作りをしたり、趣味では旅行や落語・コンサート、そして映画鑑賞をして楽しんでる（家内と二人で）。

特に心に残っているのは「35年目のラブレター」という映画である。事前に本を読んでいたのに、情景は思い浮かべていたが、実際に映画を見てインパクトが違った。読み書きができない為、社会に出て差別の扱いを受け、大変な思いをして生きて来たが、結婚に巡りあい子供もできた。

しかし、読み書きができない劣等感から、「最愛の妻にラブレターを書きたい」という一心で還暦過ぎてから夜間中学に通い、ラブレターを渡すことができた。妻が突然他界したが、20年間通って卒業した事や励まし合って生きて来た夫婦愛と努力した人生に感動！



## その誉め言葉 今世最後かも!?

教養一年 郷土・生活

橋本 しろみ

皆さま！ 日頃、仲の良い友達や家族を、褒めていますか？人の良いところに気づいたら遠慮せずそのまま言葉にしてみても、いかがでしょう。「そんな事はないよ」ではなく「そう言ってくれて嬉しい」と受け止めることで心が暖かくつながるのでは、ないでしょうか。ひとつこの優しい言葉は、思っている以上に相手の心に響くものです。

皆様もご存知、瓢箪ランプ作りを思い出して下さい。お互い「キレイ」「かわいい」「ステキ」と言っています。目の前にいる人の良い所をみつめ褒め合いありがとうの花を咲かせませんか。その褒め言葉今世最後かもしれないのですから……。



## 我が家のドラマ 『ばけばけ』

教養一年 芸術・文化

村上 好範

年末、我が家のトイレから「コケコッコ！」の声。帰省した当時五歳の孫が、なまはげのニュースに怯え、妖怪退散の呪文として鶏の鳴き声を唱えていた。

「昔の人々は、夜の闇を悪魔や妖怪が支配し、鶏が夜明けを告げると退散すると考えた」そんな伝説話を思い出し、びびり君に撃退法を伝授。孫はトイレに入る度に「すっきり声？力み声？」と考えて「コケコッコー！」と鳴き声を響かせた。よそで鳴くのは気まずいので念力退散術を教えると、小声の鶏に変わった。あれから十年、今は受験妖怪と奮闘中の孫に心の中で「コケコッコー！」と、そつとエールを送っている。



## 私の目指す生き方

教養二年 健康・福祉

菊田 和子

夫の定年を機に故郷の大玉村に越して12年になります。かつての仕事のケアマネジャーになりました。

こちらで担当したグループホームに特に心に残った九十五歳の利用者がおりました。認知症もだいぶ進み声を発する事も少なくなっていました。トイレや自分の部屋、座席も分からず本人はとても不安を感じているだろうと思いました。スタッフと協力してトイレには『便所』と大きく書き、彼女の部屋のドアには家族に聞いた本人の好きな花を飾り、座席の名前を大きくしたり、それらのちよとした工夫で笑顔が増えてきて不安が少しは解消したかとスタッフと喜びを分かち合った一例です。その利用者様が認知症初期に書いた仏様の絵に添えた言葉が私の目指す人生の生き方となりました。

いらいらするな。くよくよするな。ぎすぎすするな。

おおらかに、おおらかに





## 私の終活は？

教養二年 郷土・生活

大河原 純雄

私は現在75歳です。人生の締め括りの一つとして、日本国の名字と地名の収集をしております。

名字は十五万から三十万種あると言われます。私は十三年目の現在十二万種を収集しました。小字の収集は名字と並列で

の収集です。全国では一千万カ所と言われています。二十六万カ所を収集しています。

この二つの収集は、自己満足の収集で誰かの益にはなりません、私の

最期場となっております。後何年続けられるか判りませんが、それまで続くことを願っています。今日です。

珍しい地名	読み方	口無	くちなし	崎張	うそぼり
1.堀島集	読み方	堀田	つつまだ	雪車	そり
紙漕	あかもぐり	横森	うるちもち	本実	もとわらい
馬ノ墓	うまのか	御茶内	ごらくうち	無員路地	むぐろじ
打瀬内	うちがいうち	子産坂	こうみさか	崎張	むじなぐぼ
頼夷穴	えみしあな	五郎四郎	ごろうしろう	子ッ橋	ねっこばし
鬼渡路	うしろ	作戦	さくら	四南川能力	しながわのりき
橋売	おけうり	道正内	みちしょうない	阿勢雄	あせふ
熊	くま	三拾子	さんびょうし	熊熊	くまぐま
神笑	かみわらい	延島屋敷	しやうごやしき	御船流	ごきあらい
唐澤	からつゆ	面代替	なえしろがえ	小瀬切	こふみきり
寄	じしぼり	落石	しずむいし	鶴岡	やがてとび
熊毛	くじけ	千鶴	せんたい	田園町前	でんえんちょうふ

## 初めてのストップオーバー（経由地）

教養二年 芸術・文化

続橋 淳

時間とれたので憶えていたホイアンに行くこととしました。

当時は直行便がなかったためホーチミン空港からダナン空港経由で行くことにしました。

ホーチミン空港乗り継ぎ検査場で入国検査を受ける際胸にワッペンをつけられましたが、旅慣れていると過信したそそっかしい私は、個人で来たのに団体客と間違われたと思いダナン行き待合室でそれを剥がしました。ダナンに到着すると入り口に係員がいてワッペン添付の人を右に、ワッペン無しの私を左に誘導しました。（もうお分かりですね）

その後荷物を待つも私のは出てきません。焦りまくり慌てて荷物タグをかざして係員に聞くとここは国内線到着出口で国際線は反対側にあるとのこと。急いで向かうも一回出たら入るはずありません。

「Help me」の連続と優しい係員の方で何とか荷物をゲットし無事ホイアンに到着しました。



## 今を楽しむ

専門一年 健康・福祉

岡部 百合子

気がつけば この年齢 マラソンなら折り返しをとくに過ぎて ゴールも見えるあたりです。ここまで来たらもう 毎日をいかに 楽しく生きるかです。

私は 週六日 友人と一時間のコーヒータ임。楽しく おしゃべりをして そのあと運動することを 九年以上 続けています。

また月に一度は ちよつぷり おしゃべりをして ホテルで食事 これも何年ものです。よく歩き よく笑い 明るく元気に 楽しく大切に生きて行こうと思っています。



## なぜ山に登るのだろう

専門一年 郷土・生活

丹野 シゲ子

体力と根性の無い私は登山とは無縁の人生を送ってきました。還暦手前、骨活に目覚めた私は友人に誘われるまま安積山へ。登り始めてすぐに「来るんじゃないかった」と後悔。

ヘタレの自分と戦いながらなんとか登頂。澄んだ青空と可憐な山野草に心癒され、達成感と心地よい疲労感。それから安達太良山・一切経山・磐梯山へ。登山が楽しくなってきた頃、諸事情によりしばらく遠ざかっていましたが、あさかの大学に入学し、再び登山が出来るようになりました。新しい山仲間と出会い、励まされながら今日に至ります。

「なぜ山に登るのだろう」  
答えが見つからないまま、未だ見ぬ山に想いを馳せています。





## 蘭と共に

専門一年 芸術・文化

根本 一男

皆さん蘭を育ててみませんか！

一般的に蘭は栽培が難しいと思われていますが、無加温で育てることが出来るシンビジウム属、デンドロビウム属などが知られています。

また、カトレア属の中にも立派な花を咲かせる事が可能なものもあります。（マンシヨンでの環境は最適）

何と言ってもラン科植物はその花の色と形や大きさ、香りなどの多様性にあり、花の寿命は一ヶ月を越えるものもあります。

現在福島洋らんクラブに二十年以上所属し、毎月の例会やクラブの活動に参加しています。

あさかの学園の仲間にも数名参加して頂き、当クラブの若返りに貢献頂いています。育てた花のポタニカルアートや、写真等を撮影し、自宅を飾るランライフを楽しんでみましょう。



## 思い出す、さるなしジャム

専門二年 健康・福祉

村上 藤子

私は、食いしん坊の大的甘党、だが今年の実家のさるなしの多さには驚いた。なんと七キロ、昨年の三倍の収穫量。そして、今年もさるなしジャム作りとなるわけで、これが、案外手ごわい。旦那の参戦を伴い、朝の九時からお昼過ぎまで格闘。丁度、大谷と山本の大リーグ最終戦で大勝利を納めた同日に、さるなしジャムも保存瓶に格納されたのである。そして、明日の朝にはヨーグルトの上に乗せて頂く。昨年、あるじを亡くした実家の庭に、義父が植えたさるなしの樹。義兄が剪定し今年、沢山実を付けて鎮座している。来年も旦那とジャム作りをするだろうと、思い出しながら頂きます、じいちゃん、ばあちゃん。



## 青春真つ只中!!

専門二年 郷土・生活

根本 清州

今年も、運動会や学生会主催のレク旅行、第三十二回を数えた学園祭など、楽しい行事が盛りだくさんあり、青春を謳歌することができました。皆さんもこの他に、サークル活動やクラス行事と、充実した一年を過ごされている事と思います。

私自身、あさかの学園大学に入学して授業を始め、充実した人生を歩むことができていると感じています。これもひとえに、先生方や事務局の皆さん、クラスメイトや他のクラスの皆さんとの、交流がなせるワザだと感じています。

専門二年も、あとわずかになってしまいますが、クラスの各行事への参加が、楽しみの一つであり、今まさに毎日の生活が「青春、真つ只中」であります。



新潟県 弥彦神社と海の幸を堪能する日帰り旅行  
学生会主催レク 1B・4B 2025年10月6日

## 今を楽しむ

専門二年 芸術・文化

佐藤 春子

平田村の農家の長男の家に嫁ぎ、子育て、そして義父母を看取った。息子達の部活の応援で、二十一世紀杵甲子園球場と花園ラグビー場へ行った時は嬉しかった。

今は夫と、雑草と戦いながら田畑を守り、米、野菜、豆、茸、山菜、鶏卵等自給自足の食材で食卓を飾り、薪ストーブの火を見て暮らす生活を楽しんでいる。

趣味では、北海道利尻山から九州宮之浦岳までの日本百名山を登頂達成し、高山植物を愛でて沢山の絶景を楽しんだ。

今は日本百名城、神社仏閣、熊野古道、四国お遍路の旅を楽しんでいる。





## 百歳おめでとう

研修一年 伊藤 京子

私の義母は、十月の誕生日で満百歳になりました。

「大きいばあちゃん百歳おめでとう。」私は八人の孫がいます。その孫達は義母の事を「大きいばあちゃん。」と呼び百歳を祝ってくれました。義母は栗が大好きなので、栗を使ったバースデーケーキを注文しました。要介護になり車イスでの生活なので今は施設にお世話になっています。誕生日に栗を沢山使用したケーキを持って、ひ孫二人も連れてローソクの火を消して貰い本人も喜んでいて楽しい誕生会になりました。

二日後には市役所の方が施設に来て下さり国、県、市からの賀寿を届けてくれました。まだまだ元気な義母です。いつまでも元気なばあちゃんであって下さい。百歳おめでとう。

私達もいつまでも元気に百歳を目標に頑張つて生きたいと思います。



## 学園祭

研修一年 三瓶 みき子

どのクラスも趣向を凝らした発表会で、毎回楽しく参加させていただいております。

さて、私達研修コース1年の演目は、酔ってらっしゃい、飲んでらっしゃいのダンス発表でした。本番を迎えるまでは、気恥ずかしいやら、うまく出来るか不安がありましたがいざ踊り始めると楽しくてあつという間に終わってしまった、もっと踊りたい気持ちになっていたのを覚えています。

皆で発表が出来て、良い思い出になりました。



## 走らないという選択肢はない

研修二年 柳沼 耕一郎

ある人から「歩くより遅いね。」と言われながら、私はほぼ毎日五キロを走っている。

きっかけは長年の不養生。高脂血症、腰痛、メタボ体型を改善するためだ。退職後は時間ができ、走る距離も伸び、マラソン大会への出場につながった。

出場しておもしろかったのは、都会を走る「仙台国際ハーフ」、地獄坂と称される「東和ロードレース」秋祭り会場を走る「喜多方健康マラソン」。

特に喜多方は紅葉の美しい十一月三日に開催。ほぼ毎年出場している。今年もエントリーし、妻に話したところ「私も行く。」当日は雨。体調は前日のワールドシリーズ、山本投手に興奮。テレビで夜更かししたせいで眠い。幸い？熊の出没情報があり、距離は五キロに変更されて開催。結果は73人中65位であった。

一休みし、塩川町での温泉、芦ノ牧の有名な食堂で昼食、南会津の美しい紅葉を二人で堪能しながら帰宅した。来週は白河だ。頑張るぞ！



## 楽しかった小鉢づくり

研修二年 佐藤 幸夫

ものづくりは昔から好きだった私。我が家の庭づくり、ウッドデッキも自作。完成したウッドデッキの上で妻と庭に咲く花を愛でながらお茶を飲むのが日課です。

学園では材料を手で練って廻しながら小鉢の形に成形しました。

その後、指定した色付けや電気釜の工程を経て仕上がりました。不器用ながらも出来栄は満足。今では馬刺しを盛るのに活用して一杯晩酌しております。

こんな楽しみがあるなら会津本郷焼の現地体験があれば良いと思います。





# 環境セミナー

令和8年1/17(土) 13:00～

令和8年1月17日(土)、ビッグアイ7階 大会議室で環境ボランティア委員会主催による講演会が下記テーマで開催されました。

テーマ 笑いと健康長寿

演題 笑って健康

講師 さんしょや こつぶ 山椒家 小粒 氏

- 嘶の会 じゅげむいわき支店代表
- 郡山市生涯学習きらめきバンク 達人先生登録



参加者  
144名



## 学生の皆様からの寄付と募金

10月23日、あさかの学園大学学生会が「福島県福祉大会」で多額の寄付をした団体として表彰され、代表して國分会長が感謝状を頂きました。



### タオル寄付

◆ 郡山市社会福祉事業団へ  
11月25日(水)に訪問し、タオルをお渡ししました。



1,140枚

### 歳末助け合い募金

12月9日(火)郡山市総合福祉センターにて、社会福祉法人福島県共同募金会 郡山市共同募金委員会「歳末たすけあい運動」寄付受領式にてお渡ししました。



¥184,296

## 市長訪問

### 椎根市長の表敬訪問を終えて

専門1年 芸術・文化 大野 直彦



秋空の広がる9/30(火)午後、学生会を代表して國分会長、鈴木久夫総務理事、五十嵐会計理事、遠藤副会長、山澤副会長と私の6名で椎根市長を表敬訪問しました。例年は新体制発足後の5～6月頃の予定ですが、ご多忙の市長のアポイントがなかなか取れずこのタイミングとなりました。

まず國分会長から、今年度の学生会活動のポイントを説明させて頂きました。椎根市長からは「市長に就任後、広域圏を巡ってきました。郡山市は31.7万人ですが、広域圏だと60万人の規模になるので圏内で交流促進、活性化につなげていきたい。あさかの学園大学の方々はいろんな地域の活動のキーマンとして活躍していると聞いています。活性化に力を貸してください。また、図書館利用のLINE化等、時代に合わせて住みやすい街を目指していきたい」と話されていました。

皆さん、あさかの学園大学での学び・気づきを踏まえ、我々高齢者ならではの社会貢献等考え、実践して共に住みやすい街を目指しましょう!!



## 令和7年度 郡山市豊かな長寿社会 いきいきふれあいの集い

◆と き…令和7年11月18日(火)  
◆ところ…けんしん郡山文化センター  
大ホール

### 【提言】

- 一つのつながり 郡山市立郡山第四中学校 2年 遠藤 詩乃 様
- “人生100年”と“人口減”の交差点で  
— AIが支える地方型ライフデザイン  
公益社団法人郡山青年会議所 副理事長 山本 将司 様

### 【活動事例発表】

- シニアボランティアグループの楽しい生涯学習への取り組み  
～「郡山自主夜間中学」の講師として～  
郡山自主夜間中学 代表 皆川 晃 様

### 【記念講演】

- 演題「老いはのどからやってくる」  
講師 フリーアナウンサー 宮本 隆治 様



### 司会

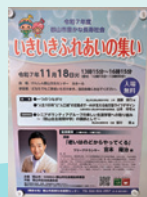
郡山第四中学校 2年  
武田 ゆら 様  
遠藤 結衣 様



### いきいきふれあいの集いに参加して 1B 櫻田 和也

今回すばらしい講演を視聴することが出来てありがとうございます。今までこのような経験がなく感動しました。特に「人とのつながり」の重要性です。健康寿命の延伸には、運動や食事だけでなく、社会的な交流が不可欠であると再認識しました。

参加者の皆様の明るく活発な様子は、地域社会とのつながりが、心身の健康を維持する上でいかに大切かを物語っていました。私もこれからは、より積極的に地域行事や趣味のサークルに参加し、新しい出会いを大切にしていきたいと思っています。「郡山豊かな長寿社会いきいきふれあいの集い」は単なる啓発イベントではなく、参加者一人ひとりが自らの未来を見つめ直し行動を起こすきっかけをくれる素晴らしい機会でした。



## 警察からののお知らせ

福島県内では、警察官や有名人の名をかたった詐欺被害が多発しています。

警察官をかたった詐欺は、「あなた名義のスマホが犯罪に使用されている」などと電話をかけてきて、「今すぐ取調べをしなければならぬ」「あなたには逮捕状が出ている」などと言ってきたり、逮捕状を写メで見せてくるなどして、示談金と称して金銭を要求してくるというものです。

詐欺電話のほとんどは「+」からはじまる国際電話番号が使用されていますので、この番号から着信があった場合は、電話に出たり返信しないでください。

また、有名人をかたった詐欺は、インターネット上の有名人による投資に関する二セ動画にアクセスさせ、投資話を持ち掛けてきて、手数料などと称して金銭をだまし取るといったものです。

「警察が示談金を要求してくる」「インターネットやSNSで知り合った相手から投資話を持ち掛けられる」などと言った場合は詐欺を疑い、すぐ警察署に相談してください。

県警では防犯対策として「POLICEアプリふくしま」の利用を勧めております。ご希望の方はQRコードからインストールしてください。



問い合わせ先：福島県郡山警察署生活安全課 TEL 024-922-2800



バス6台、連ねて



立ち寄った磐梯山SA



★今年のバス旅行は、新潟方面★

カメラマンは大忙し



立ち寄った阿賀野川SA

## 弥彦神社と海の幸を堪能する日帰り旅

弥彦神社の赤鳥居



しっかり、お詣り



運転手さん、ガイドさんと

弥彦神社の  
パワースポット



この一杯🍷!



この料理!



この笑顔! 😊

お得に  
ゲット!



(笑) 😊



(笑) 😊



(笑) 😊





## バス旅行に参加して

### 学生レク、4年生になって初参加!!

4C 長尾 郁子

6時40分集合、曇天の肌寒い朝でしたが、バスの中は熱気ムンムン、すごい〇〇パワー。弥彦神社に着く頃には、青空も見えて散策も楽しく、特にトイレ休憩の度に長蛇の列が出来ていたのに、木立の中にあるトイレは綺麗で先客もなく最高でした。

昼食後、いざ買い物へ、あれもこれもと欲張り、重い発泡スチロールを持って帰途に就きました。



### 学生会旅行に参加して

3C 長沼 まり子

初めて行く弥彦神社は、越後地方で最も格式高い神社として知られ、出雲大社と同じく二礼四拍手一礼でお参りする作法は、神社への深い敬意と感謝を示すためのものだとの事。

お天気にも恵まれ歴史ある境内は、パワースポットらしく荘厳な雰囲気でも私元気をもらったような気がします。

帰りのバスでは、ビンゴゲームで盛り上がり楽しいバス旅行になりました。ちなみに、私はビリ!でした。企画した役員の皆さん御苦労様でした。



### 今年も楽しく盛り上がった バスレクリエーション

2B 仲野 ミエ子

10月6日(月)新潟方面へバス6台で出発、2Bは11名が参加しました。弥彦神社に参詣後、寺泊で地魚メインの昼食と買い物を楽しみ、帰路の車中では定番のビンゴゲーム大盛り上がりでした。弥彦神社は3度目でしたが、メンバーが違々と景色はまた変わります。学生会バスレクは毎回とても楽しいです。次回一緒にいかがですか。



### 新潟の旅! 狛犬ハンター 曖昧メモリーでいざ、出発!

1B 三輪 秋男

あさかの学園大学のバス6台大名行列で、快晴の新潟へと出発いたしました。

弥彦神社では30年前の景色が思い出せず、「認知症気味」な自分を感じましたが、趣味の狛犬激写には夢中になりました。寺泊の新鮮な海鮮と、帰りのおすすめ絶品わらび餅に大満足です。

ガイドさんの眠らせないトークと学生交流のおかげで、疲れは吹っ飛び、帰宅後の第一声は「楽しかった〜!」でした。この企画を担当された方々に心より感謝申し上げます。





みんなの  
文  
芸

## ● 短歌

子が巣立ち思い出アルバム

あさかの大学でどんな夢描こうか

(1C) 児玉 賢嗣

苔むした石垣続く城跡の

紅葉ふみしめ秋深し

(2C) 吉田久美子

一本のメタセコイアはぼうたんの

喜怒哀楽を受けとめており

(3C) 面川喜美子

幾年の苦渋越してもたおやかに

母は笑み云ふコスモスが好き

(4C) 古川 陽子

文化祭心あわせて参加する

笑顔満開私古稀祝

(研1) 鯨岡 愛子

秋空に並んで走るトキの影

黄金求めて楽しい旅路

(研2) 石田 憲雄

## ● 俳句

黄昏に落ち葉舞い散る冬支度

(1A) 松本 幸男

花氷溶けて花びら浮きにけり

(2A) 村上 圭子

本棚の奥に青春秋深し

(3A) 神山 啓子

むきし栗母のおもかげしのびつつ

(4A) 伊藤 千代

待ち倦む熊穴に入る冬日和

(研1) 志賀スミ子

初雪や早割りリフト猫魔岳

(研2) 深谷 仁

## ● 川柳

爺婆の思いにならぬタッチパネル

(1B) 橋本ツヤ子

草むしり迷惑そうに蛙とぶ

(2B) 井戸川貴江子

歳取れば歳取る程に歴史増し

(3B) 村上 公希

病院へ行けば今日も同級会

(4B) 村田 文利

くまモンも着ぐるみぬげば熊こわい

(研1) 渡辺 洋子

柿むいて相続税の話など

(研2) 高橋 進一

## 編集後記

編集作業の仕上げは校正である。会報編集委員になって初めて気付く事ばかり。手書き入稿だと入力ミスがある。テキスト入稿だと書き手の責任だからそれでよい訳じゃない。固有名詞の間違い、特に名前は絶対許されない。アラビア数字英文字の縦書きは苦勞する。悪く言えばあらさがしだがゲームと考えれば楽しい作業である。

By (Deochan)



## 福祉ボランティアセミナー

◆とき…2025年11月15日(土) 10:00～ ◆ところ…ビッグアイ 7階 大会議室

第1部 講演「シニア世代だからこそ  
できるボランティア」

郡山市社会福祉協議会 地域福祉課 係長 岡田 裕亮 様

郡山市社会福祉協議会 地域福祉課 ボランティアセンター

藤田 美紀 様



## 第2部 ボランティア活動事例 発表

## ◆「私と音楽 ボランティアへ」

専門課程 2年 郷土・生活学科 鈴木 久夫さん



## ◆「地域とこども食堂」

専門課程 1年 郷土・生活学科 佐久間 喜代江さん

